

# 給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書（普通徴収記載例）

1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度	
※市町村処理欄					
特別徴収義務者 指 定 番 号		12-34567		※市町村ごと に異なります	
宛 名 番 号		1234			
連絡先の氏名及び 所属課、係名並び に電話番号	課・係	人事課人事労務係			
	氏名	特徴 花子			
	電話	000-000-0000 (内線 123)			
異 動 の 事 由	異動後の未徴収 税 額 の 徴 収	退職した年の1 月から退職時ま での給与支払額		円	
	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 (1月以降は必須)	3. 普通徴収 理由 異動の事由のとおり		1,200,000 円	
① 退職 ② 転勤 ③ 合併 ④ 休職 ⑤ 長期欠勤 ⑥ 死亡 ⑦ 会社解散 ⑧ 住所誤報 ⑨ その他 (特別徴収不可)		月分で納入 (月 日納期分)		控除社会 保 険 料 額 円	
※「9. その他(特別徴収不可)」を選択された場合は、 次のいずれかの理由を必ず選択してください。					
1 (普B)	他の事業所で特別徴収 (例：乙欄適用者)				
2 (普C)	給与が少なく税額が引けない (例：年間の給与支給額が〇〇万円以下)				
3 (普D)	給与の支払が不定期 (例：給与の支払が毎月でない)				
4 (普E)	事業専従者 (個人事業主のみ対象)				

〇〇〇 市町村長 殿		住所(居所) 又は所在地		〒 012-3456	
平成 × × 年 〇〇 月 △△ 日 提出		フリガナ		〇〇県 × × 市 △△1-2-3	
(特別徴収義務者) 給与支払者		フリガナ		カブシキガイシャ マルバツショウジ	
		氏名又は名称		株式会社 ○×商事	
		代表者の 職氏名印		代表取締役 特徴 太郎	
個人番号 又は法人番号		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		代表印	
給 与 所 得 者		(ア) 特別徴収税額 (年税額)		(イ) 徴収済額	
受給者番号(整理番号)		フリガナ		(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	
123456		氏 名		異動年月日	
鈴木 一郎 (旧姓)		140,000 円		× × ・ 8 ・ 31	
生 年 月 日		昭和・平成		6 月から 9 月から	
50 年 1 月 1 日		8 月まで 5 月まで		35,600 円 104,400 円	
個 人 番 号		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
1 月 1 日 現在の住所		〇〇県 × × 市 △△3-2-1			
給与の支払を受け なくなった後の住所					

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、記載してください。

一 括 徴 収 の 理 由	徴収予定 月 日
1. 異動が平成 年 12 月 31 日 までで、申出があったため ( 月 日申出)	・
2. 異動が平成 年 1 月 1 日 以後で、特別徴収の継続の希望がないため	・
異 動 者 印	・

**8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。**

(ア)特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分)  
(イ)徴収済額 35,600円(6月から8月分)  
(ウ)未徴収税額 104,400円(9月から翌年5月分)

↑  
普通徴収税額

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※ 新規事業所の場合は記入不要です。)		課・係		新しい勤務先では	
新しい勤務先の住所 (居所)又は所在地		連絡先の 氏名及び 所属課、 係名並び に電話番 号		月割額 円を	
フリガナ		氏名		月分から徴収し、納入します。	
氏名又は名称		電話		新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。	
代表者の職氏名印		電話 (内線 )		納入書 要 ・ 不要	

【提出先】 〒▲▲▲▲—▲▲▲▲▲ ●●市●●●● ▲丁目▲番▲号 ●●市役所●●部●●課●●係

御注意

4 新勤務先では最下段の事項を記載し、一月一日現在の住所(課税地)の市町村長に送付していただくことが義務づけられています。

3 1 黒のボールペン又はペンで記載してください。

2 1 転勤(再就職等)により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、前勤務先で最上段の事項を記載し、新勤務先に送付願います。

また、「給与所得者」の欄の「個人番号」は、前勤務先では記載せず、新勤務先へ送付願います。

1 前勤務先では最下段の事項を記載し、一月一日現在の住所(課税地)の市町村長に送付していただくことが義務づけられています。

# 給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書（一括徴収記載例）

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度	
※市町村処理欄		特別徴収義務者 指 定 番 号 12-34567		※市町村ごと に異なります	
		宛 名 番 号 1234			
課・係 人事課人事労務係		氏名 特徴 花子		電話 000-000-0000 (内線 123)	
連絡先の氏名及び 所属課、係名並び に電話番号		異 動 の 事 由 ① 退職 ② 転勤 ③ 合併 ④ 休職 ⑤ 長期欠勤 ⑥ 死亡 ⑦ 会社都合		異動後の未徴収 税 額 の 徴 収 1. 特別徴収継続 一括徴収 (1月以降は必須) 9 月分で納入 (10月10日納期分) 3. 普通徴収 (理由)	
退職した年の1 月から退職時ま での給与支払額 円 1,200,000		控 除 社 会 保 険 料 額 円 60,000		退職した年の1 月から退職時ま での給与支払額 円 1,200,000	

〇〇〇 市町村長 殿		住所(居所) 又は所在地 〒 012-3456 〇〇県××市△△1-2-3		〒 012-3456	
平成××年〇〇月△△日提出		フリガナ カブシキガイシャ マルバツシヨウジ		フリガナ	
給与支払者 (特別徴収義務者)		氏名又は名称 株式会社〇×商事		代表者の 職氏名印 個人番号 又は法人番号	
		代表取締役 特徴 太郎		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
給与所得者		(ア) 特別徴収税額 (年税額)		(イ) 徴収済額	
受給者番号(整理番号) フリガナ 123456		鈴木 一郎 (旧姓)		6 月から 9 月から	
氏 名		昭和 平成 50 年 1 月 1 日		8 月まで 5 月まで	
生 年 月 日		個人番号 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		円 円	
個人番号		1 月 1 日 現在の住所 〇〇県××市△△3-2-1		35,600 104,400	
給与の支払を受け なくなった後の住所				異動年月日 ××・8・31	

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載してください。

一 括 徴 収 の 理 由		徴 収 予 定		
①. 異動が平成××年12月31日 までで、申出があったため (8月25日申出)		徴収予定 月 日	徴収予定額	徴収予定額合計 (上記(ウ)と同額)
2. 異動が平成 年 1 月 1 日 以後で、特別徴収の継続の希望がないため		9・20	104,400 円	104,400 円
異 動 者 印				

氏名	続柄	1 (普B)	他の事業所で特別徴収 (例: 乙欄適用者)
住所		2 (普C)	給与が少なく税額が引けない (例: 年間の給与支給額が〇〇万円以下)
電話		3 (普D)	給与の支払が不定期 (例: 給与の支払が毎月でない)
		4 (普E)	事業専従者 (個人事業主のみ対象)

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※ 新規事業所の場合は記入不要です。)	
新しい勤務先の住所 (居所) 又は所在地	〒
フリガナ	
氏名又は名称	
代表者の職氏名印	

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分で一括して納入する場合。  
 (ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分)  
 (イ) 徴収済額 35,600円(6月から8月分)  
 (ウ) 未徴収税額 104,400円(9月から翌年5月分)  
 ↑  
 一括徴収税額(納入額と同額)

新しい勤務先では	※市町村記入欄
月割額 円を	
月分から徴収し、納入します。	
新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。	
納入書 要 ・ 不要	

【提出先】 〒▲▲▲▲—▲▲▲▲▲ ●●市●●●● ▲丁目▲番▲号 ●●市役所●●部●●課●●係

御注意  
 4 新勤務先では最下段の事項を記載し、一月一日現在の住所(課税地)の市町村長に送付していただく。一括徴収することが義務づけられています。  
 3 転勤(転職)等による特別徴収届出書には、前勤務先で最上段の事項を記載し、新勤務先に送付願います。  
 2 黒のボールペン又は、特別徴収税額通知書に記載してください。  
 1 転勤(再就職等)により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合は、前勤務先で本人から番号の提供を受け記載してください。  
 1 前勤務先が個人事業主の場合、「給与支払者」は、「前勤務先」は記載せず、新勤務先へ送付願います。

# 給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書 (特別徴収記載例)

御注意

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

4 新勤務先では最下段の事項を記載し、一月一日現在の住所(課税地)の市町村長に送付してください。一括徴収する場合は、一括徴収することが義務づけられています。  
 3 1 黒のボールペン又は、ペンで記載してください。  
 2 1 転勤(再就職等)により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、前勤務先で最上段の事項を記載し、新勤務先に送付願います。また、「給与所得者」の欄の「個人番号」は、前勤務先では記載せず、新勤務先へ送付願います。  
 2 2 異動が平成 年 月 日以後で、特別徴収の継続の希望がないため  
 1 黒のボールペン又は、ペンで記載してください。  
 2 1 転勤(再就職等)により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、前勤務先で最上段の事項を記載し、新勤務先に送付願います。また、「給与所得者」の欄の「個人番号」は、前勤務先では記載せず、新勤務先へ送付願います。

〇〇〇 市町村長 殿		住所(居所)又は所在地 〒 012-3456 〇〇県××市△△1-2-3		特別徴収義務者 指定番号 12-34567		※市町村処理欄	
平成××年〇〇月△△日提出		フリガナ カブシキガイシャ マルバツショウジ		宛名番号 1234		※市町村ごとに異なります	
(特別徴収義務者) 給与支払者		氏名又は名称 株式会社 ○×商事		連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号 課・係 人事課人事労務係 氏名 特徴 花子 電話 000-000-0000 (内線 123 )			
代表者の職氏名印 個人番号又は法人番号		代表取締役 特徴 太郎		代表印			
給与所得者		(ア) 特別徴収税額(年税額)		(イ) 徴収済額		(ウ) 未徴収税額(ア)-(イ)	
受給者番号(整理番号) フリガナ 鈴木 一郎		スズキ イチロウ		異動年月日 ××・8・31		異動の事由 1. 退職 2. 転勤併 3. 合併 4. 休業 5. 長	
123456		氏名		6 月から 9 月から		異動後の未徴収税額の徴収 ① 特別徴収継続 ② 一括徴収 (1月以降は必須)	
生年月日		昭和・平成 50 年 1 月 1 日		8 月まで 5 月まで		退職した年の1月から退職時までの給与支払額 円 1,200,000	
個人番号		〇〇県××市△△3-2-1		35,600 円 104,400 円		控除社会保険料額 円 60,000	
1月1日現在の住所		〇〇県××市△△3-2-1					
給与の支払を受なくなった後							

◎給与のなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載してください。

<p>転居等により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、「個人番号」は、前勤務先では記載しないでください。</p>		
2. 異動が平成 年 月 日以後で、特別徴収の継続の希望がないため		
異動者印		
徴収予定		
徴収予定月日	徴収予定額	徴収予定額合計(上記(ウ)と同額)
・	円	円
・	円	円
・	円	円

8月末で退職する給与所得者が、9月末から新しい会社で特別徴収する場合。

相続人の氏名等	
氏名	続柄
住所	

※「9. その他(特別徴収不可)」を選択された場合は、次のいずれかの理由を必ず選択してください。	
1 (普B)	他の事業所で特別徴収(例: 乙欄適用者)
2 (普C)	給与が少なく税額が引けない(例: 年間の給与支給額が〇〇万円以下) 給与の支払が不定期 毎月の支払が毎月でない) (業主のみ対象)

新しい会社で特別徴収を開始する月(9月)とその月割額を記載します。

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※ 新規事業所の場合は記入不要です。)		98-76543		課・係 庶務課社員係		新しい勤務先では 月割額 11,600 円を		※市町村記入欄	
新しい勤務先の住所(居所)又は所在地		〒 654-3210 〇〇県××市△△1-2-3		連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号		9 月分から徴収し、納入します。			
フリガナ		マルバツフンサン カブシキガイシャ		氏名		特徴 進			
氏名又は名称		〇×不動産 カブシキガイシャ		電話		111-111-1111 (内線 222 )			
代表者の職氏名印		代表取締役 特徴 次郎		代表印		新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。			
						納入書 (要) ・ 不要			

【提出先】 〒▲▲▲▲—▲▲▲▲▲ ●●市●●●● ▲丁目▲番▲号 ●●市役所●●部●●課●●係